

日立ダイアグモニタ HDM-350 ユーザー様

日立 Astemo アフターマーケットジャパン株式会社

HDM-350 ソフトのバージョンアップのご案内(乗用車、トラック)

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のお引き立てを頂き厚く御礼申し上げます。診断ソフトをバージョンアップ致しましたので、下記の通りご案内申し上げます。

敬具

記

1.バージョンアップ内容**(1)機能/対象車両追加**

ソフト	バージョン	主なバージョンアップ内容
ホンダ	4.12	S660 で EPS の作業サポート「舵角センサ中点学習値クリア」を追加しました。
マツダ	6.52	アテンザ(GG/GY 系の後期車両、2005 年 6 月以降)の、PCM、TCM、ABS/DSC RCM のデータモニタを追加しました。
日野	3.77	一部車両を対象に作業サポート「インジェクタ補正」を追加しました。 ※:メニュー画面「診断、作業サポート」選択時
いすゞ	5.50	対象車両、作業サポート機能の追加を行いました。(詳細は 4 ページに掲載)
BMW	5.25	診断メニューの表示を変更しました。
MINI	5.25	診断メニューの表示を変更しました。

(2)修正対応

操作性等の向上を目的に下表のソフトの修正対応を行いました。

ソフト	バージョン	修正内容
トヨタ	8.10	ダイナ(GDY231/GDY281)のエンジン故障コード消去の不具合を修正しました。

2.バージョンアップ手順

2 ページ目からの手順をご参照の上、バージョンアップを行ってください。

3.リリース時期

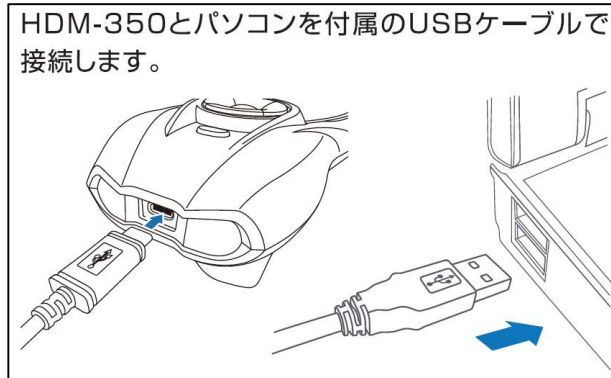
2023 年 2 月 24 日 19 時から、お手元の HDM-350 へのダウンロードとインストールが可能です。

以上

HDM-350 ソフト・バージョンアップ手順 (Win.10 の場合)

本手順を実行頂くと、全てのソフトが最新版にバージョンアップされます。個別の診断ソフト毎で本手順を行って頂く必要はございません。

1. 本体キット付属の USB ケーブル (Type C) で、HDM-350 本体とパソコンを接続して下さい。

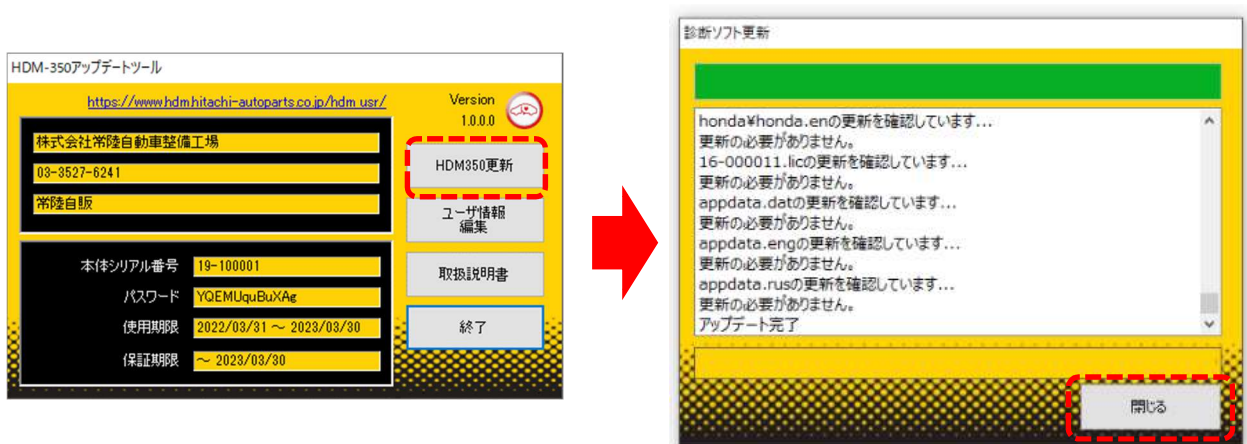


2. 自動再生により PC の画面上に「HDM-350」のフォルダが表示されます。フォルダ内の「HDM-350.exe」をクリックしてアップデートツールを起動して下さい。



自動再生が実行されない場合は次ページの操作方法を参照下さい

3. アップデートツールの「HDM-350 更新」をクリックして下さい。最新の診断ソフトがダウンロードされます。ダウンロードが完了致しましたら、「診断ソフト更新画面」の下部の「閉じる」をクリックして下さい。



4. ダウンロードが完了されましたら、パソコンのタスクバーに表示されているUSBのアイコンをクリックして「ハードウェアの安全な取り外し」を実行してから、パソコンからHDM350 を取り外して下さい。

自動再生が実行されない場合

パソコンによっては、ウイルスソフトが自動的に実行されるのを防止する為、USBメモリ等が接続された際の自動再生が設定されていない場合がございます。

自動再生が実行されない場合は、以下の手順でHDM350 インターフェースボックス内部の「HDM350.exe」を起動して下さい。

【手順1】

パソコンの画面下部にあるタスクバーに表示されている「エクスプローラ」をクリックして下さい。



【手順2】

「エクスプローラ」が起動します。画面の左側にある「コンピューター」に「HDM-350」が表示されておりましたら、「HDM-350」をクリックして下さい。

HDM-350 (D:)

【手順3】

HDM-350 フォルダ内のファイルが表示されます。「HDM-350.exe」をクリックして、アップデートツールを起動して下さい。

HDM-350 本体のパソコンからの取り外しについて

HDM-350 本体をパソコンから取り外しは、本体内のファイルの破損を防止する為、以下手順を行って下さい。

- ① パソコン上の HDM-350 フォルダを閉じて下さい。
- ② パソコンのタスクトレイの取り外しアイコンをクリックして下さい。
- ③ 「JOB D II SCAN TOOL の取り外し」をクリック。（「Device の取り出し」表示される場合がございます）
- ④ 「ハードウェアの取り外し」が表示されてから、HDM-350 本体をパソコンから取り外して下さい。

HDM-350 用いすゞソフトのバージョンアップのご案内 (Ver.5.50)

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のお引き立てを頂き厚く御礼申し上げます。さて、HDM-350 用いすゞソフトをバージョンアップ致しますので、下記の通りご案内申し上げます。

敬具

記

1.バージョンアップ内容

(1)対象車両の追加

フォワード(2022年車両)を追加しました。

(2)自己診断の対応システムの追加

22DTUを追加しました。

(3)作業サポートの追加

下表の内容で追加を行いました。

対象システム	機能
トランスミッション	ギア学習値の消去、クラッチ補正值の消去、クラッチ MV 情報の消去 クラッチ摩耗情報のクリア
アイドリングストップ	G センサ 0 点学習、ステアリングアングルセンサ学習
ecostop	G センサ 0 点学習
HSA (ISS&HSA)	G センサ 0 点学習
コーナリングランプ制御	G センサ 0 点学習
車両制御 ECU(VCM)	G センサ 0 点学習、ステアリングアングルセンサ学習
SRR(Front Left)	初期データ設定、取付位置データリセット
SRR(Front Right)	初期データ設定、取付位置データリセット
SRR(Rear Left)	初期データ設定、取付位置データリセット
SRR(Rear Right)	初期データ設定、取付位置データリセット

以上